

## 根気強く継続する活動を支援 芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund) —第2回採択結果発表—

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝5-3-2、理事長:尾崎元規)は、このたび「芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund)」の第2回選考委員会を行い、計13件へ総額308万円の助成を決定しました。800年以上続く地域の祭事から震災後にスタートした活動まで、地道に継続している活動を支える採択結果となりました。当ファンドは、全国の災害被災地・被災者を応援するため集まった寄付金を芸術・文化活動へ助成するもので、2011年3月23日開設以来の助成総件数は285件、助成金額累計は148,510,577円となりました(7月26日現在)。採択活動の詳細は次頁をご覧ください。

### 【今回採択された活動の内訳】

- 東日本大震災 被災地エリアでの活動 …11件(うち「百祭復興」枠3件)、助成総額258万円
- 熊本地震 熊本・大分エリアでの活動 …2件、助成総額50万円



福島県沿岸部「被災者コミュニティ形成」  
及び「被災者支援」ミニコンサート事業



田島祇園祭屋台歌舞伎舞台特別公演



小森はるか+瀬尾夏美  
二重のまち/交代地のうたを編む

※採択活動の例(画像は過去活動写真)

### ■GBFund(ジービーファンド)とは



被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動や、被災地の有形無形の文化資源を再生する活動を支援するため、2011年3月23日に「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)」(G:芸術、B:文化、F:復興/ファンド)を立ち上げました。2012年には、地域における郷土芸能・祭りの重要性に着目した助成枠として、「百祭復興プロジェクト」枠を設置し、2016年4月20日には熊本地震を受け「GBFund熊本・大分」の立ち上げも行いました。

5年間にわたる取り組みを経て、引き続き日本全国の災害に対して芸術・文化を必要とする地域に対応できるよう、2017年3月に「芸術・文化による災害復興支援ファンド」として名称と仕組みをリニューアル。

今後も芸術・文化を通じた復興支援を継続してまいります。

- WEBサイト: <https://culfun.mecenat.or.jp/grant/gbfund/>
- 『GBFund2011-2015 報告書』: [http://www.mecenat.or.jp/ja/reading/post/mecenat\\_report\\_GBFund2011-2015/](http://www.mecenat.or.jp/ja/reading/post/mecenat_report_GBFund2011-2015/)

### ■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長:高嶋達佳([株]電通相談役)、理事長:尾崎元規(花王[株]顧問)。会員 163 社・団体/19 名(2018 年 6 月 1 日現在)。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報:伊藤・佐藤(華)/助成:佐藤(華)・栗田

TEL: 03-5439-4520 | FAX: 03-5439-4521 | E-mail: [press@mecenat.or.jp](mailto:press@mecenat.or.jp)

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8 階 | URL: <http://www.mecenat.or.jp>

## 「GBFund 芸術・文化による災害復興支援ファンド」採択活動一覧【第2回】

活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">  </div> <div> <p>荒神社例大祭への参加</p> <p>山の内剣舞保存会(岩手県)</p> <p>2019年7月16日～2019年7月17日</p> <p>荒神社(岩手県下閉伊郡山田町船越)</p> </div> </div>	<p>山の内地区に古くから伝わる「山ノ内剣舞」の伝承活動に取り組む。閉伊頼基公と海上安全の神である海津見神を祀る荒神社例大祭に参加し、神輿の随行として「曳船」にも乗船し、海上安全や大漁祈願の舞を奉納する。地域コミュニティの基盤づくり、次世代への伝承活動を目的とする。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">  </div> <div> <p>田島祇園祭屋台歌舞伎舞台特別公演</p> <p>田島祇園祭屋台歌舞伎保存会(福島県)</p> <p>2018年12月2日</p> <p>御蔵入交流館 南会津町文化ホール</p> </div> </div>	<p>南会津町田島地域で800年余りにわたり開催されている国指定重要無形民俗文化財「会津田島祇園祭」の「大屋台運行」際に上演される屋台歌舞伎を保存継承。田島小学校3年生の児童および田島祇園祭屋台歌舞伎保存会会員が文化ホールにて実施。児童36名が「一人一役」で必ず携わり自分たちで歌舞伎を仕上げることで、郷土への愛着心を育む。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;">  </div> <div> <p>じゃんがら念仏踊りの継承活動</p> <p>磐城じゃんがら彩志会(福島県)</p> <p>2018年4月1日～2018年12月31日</p> <p>いわき市浜通り地域周辺(福島県)</p> </div> </div>	<p>磐城じゃんがら彩志会は、2016年にブラジルで開催された東京都主催のオリンピック関連イベント「TOHOKU &amp; TOKYO in Rio」のために結成され、市内のじゃんがら8団体で構成される。県内外の復興イベント出演による被災地同士の交流・情報交換、じゃんがら念仏踊りを通していわきへの認知向上、担い手・後継者の育成を目的とする。</p>
<p>歴史と文化の体験プログラム「五十集夜情」【黒森神楽×映画『廻り神楽』 演舞と上映】</p> <p>シネマ・デ・アエル(岩手県)</p> <p>2018年10月27日</p> <p>東屋 駐車場 蔵内(岩手県宮古市)ほか</p>	<p>宮古シネマ・デ・アエルにて、宮古市の文化遺産(国指定無形民俗文化財)「黒森神楽」の迫力ある演舞とともに、神楽衆の知られざる背景を記録した映画『廻り神楽』の上映を柱に、演者と観客を交えた交流を行うイベントを実施する。市民が町の歴史、受け継いできた文化について再認識し、かかわりを持つことで、宮古の歴史と文化を活かしたこれからのまちづくりの一步となることを目指す。</p>
<p>福島県沿岸部「被災者コミュニティ形成」及び「被災者支援」ミニコンサート事業</p> <p>公益財団法人 音楽の力による復興センター・東北(宮城県)</p> <p>2018年7月14日～2019年3月31日</p> <p>いわき市内各施設(福島県いわき市)</p>	<p>地域の被災者支援団体等と協力し、被災者に寄り添ったコンサートを行う。クラシックにこだわらず、参加者の年齢や会場、被災状況に合わせたプログラムを組み、コンサート後は交流会を行い、コミュニティを形成する契機としている。東日本大震災から2週間後に仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民有志による任意団体として立ち上げられ、これまでに700回近いコンサートを開催。平成26年には公益法人としての認定を受けた。</p>
<p>当事者による記録活動活性化モデル形成事業</p> <p>公益財団法人 仙台市市民文化事業団(宮城県)</p> <p>2018年7月14日～2019年3月31日</p> <p>せんだいメディアテーク(宮城県仙台市)</p>	<p>震災から7年を過ぎた現在、震災の記憶が薄れているといわれる一方で、「今だから話せる」「記録を残したい」といわれる方々も出てきている。震災後10年に向かう中で、あらためて「当事者」に焦点を当て、新たに動き出しつつある「被災当事者による記録」を推進する。</p>
<p>二重のまち／交代地のうたを編む</p> <p>小森はるか+瀬尾夏美(宮城県)</p> <p>2018年7月14日～2019年3月31日</p> <p>陸前高田市内、仙台市内(岩手県・宮城県)</p>	<p>かさ上げ工事などで造られた「あたらしいまち」と地の底になった「かつてのまち」を行き来しながら暮らしを紡ぐ人々を描く短編「二重のまち」。日本各地から募集した若き役者およびパフォーマーによる2週間程の滞在型ワークショップを陸前高田で実施し、彼らによって表現される「二重のまち」と、住民との対話を通して生まれるあたらしい物語を用いた中編の映像作品を制作、上映する。</p>

活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
コマイぬ「ラッツォクの灯」気仙沼公演 芝原弘(宮城県) 2018年7月28日 K-port(宮城県気仙沼市)	熊谷達也氏原作「ラッツォクの灯」の舞台化。「ラッツォク」とは、お盆のときに焚く迎え火・送り火のおがらのことで、気仙沼地域独特の呼び方。東北の港町に生きる人々の姿を通して紡がれる、3.11からの再生の物語を気仙沼市で上演することで、被災地で大切なモノを失ってしまった方々へ鎮魂の祈りを届ける。
山田町石碑悉皆調査資料整備及び報告会開催事業 山田史談会(岩手県) 2018年8月1日～2019年4月30日 山田町および盛岡市(岩手県山田町・盛岡市)	山田町の貴重な歴史資料である石碑調査の成果を多くの人が閲覧、活用しやすくするため、石碑の図化、銘文の解説を進め、基礎資料として整備し、石碑の保全、保護、活用に資するとともに、地元報告会を行う。石碑の意義が再確認されることによって、被災によって失われた地域文化の文化的復興につなげる。
シンポジウム「次代を担う東北の文化的コモンズをつくる」 一般社団法人 アーツグラウンド東北(岩手県) 2018年12月12日 せんだいメディアテーク(宮城県仙台市)	2017年の「次代を担う東北の文化的コモンズをつくる報告書」をもとに、それぞれの地域においてどのような現状・課題・未来が見えたのかを考えるシンポジウムを開催。東北地方全域のアートコーディネーターの可視化・ネットワークづくり、継続的な地域の特色のある文化芸術活動の創造、東北の地から次代の社会モデルの発信を目指す。
福島県大沼郡金山町の語り手 五十嵐七重さんの民話語りを映像で記録する みやぎ民話の会(岩手県) 2018年7月14日～2019年3月31日 地域公民館等(福島県大沼郡金山町)	先祖たちが語り残した無形の伝承遺産である民話を、映像で残す。五十嵐氏は雪に閉ざされた会津の奥地で、毎夜父母が語ってくれたという民話を百話あまりも記憶し、その内容も貴重なものばかりである。なかでも、伝統的な歌物語を記憶しているのは貴重であり文化財的価値も大きい。その一つひとつを映像によって記録保存する。
地震のあとで After the Earthquake プロジェクト 公益財団法人 熊本市美術文化振興財団(熊本県) 2018年7月14日～2018年12月28日 熊本市現代美術館(熊本県中央区上通町)	地震後3年目の活動として、熊本市現代美術館が2018年3月に発刊した熊本地震記録集『地震のあとで After the Earthquake—美術館を、美術館として開ける』の英文版を作成することにより、「海外への発信」とグローバルでの「熊本での災害と文化に関するより深い議論の醸成」を行うとともに、「美術館が今、何をすべきか」を追求していく。
SASHIYORI Art Revival Connection KUMAMOTO 平成30年熊本地震復興支援事業 SASHIYORI Art Revival Connection KUMAMOTO(熊本県) 2017年7月16日～2018年3月31日 東町、藤山、塚原、舞原等各仮設団地(熊本市)	仮設住宅団地内や、震災被害の大きかった地域で、アーティストと一緒に作品をつくる、鑑賞する、身体を動かすなどの、アートによる支援活動を展開する。要望がある仮設住宅団地には定期的にアーティストを派遣し、被災者に活力が生まれるように働きかける。また、被災地での支援活動のための研修会を行い、未支援者の発掘と支援の拡大につなげる。

### ■公益社団法人企業メセナ協議会



### ※百祭復興プロジェクト枠採択活動

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化にかかわる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長：高嶋達佳([株]電通相談役)、理事長：尾崎元規(花王[株]前取締役会会長)。  
会員163社・団体/19名(2018年7月26日現在)。

#### 【本件に関するお問合せ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報担当：伊藤・佐藤 GBFund 担当：佐藤・栗田  
〒108-0014 港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 TEL:03-5439-4520 FAX:03-5439-4521  
URL: <https://culfun.mecenat.or.jp/grant/gbfund/> E-mail: [mecenat@mecenat.or.jp](mailto:mecenat@mecenat.or.jp)